

報道関係者各位

2026 年 10 月 19 日(月)

デジタルハリウッド大学と愛知県教育委員会 教育連携協定を締結

教員向けオンラインセミナーや STEAM 特別授業、
高校へのアドバイザー配置で県立学校の DX を支援



写真右から：愛知県教育委員会 教育長 瀬瀬知行氏、デジタルハリウッド大学 学長 藤井直敬

協定締結日：2026 年 10 月 19 日(月)

文部科学省認可の株式会社立の大学として、デジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを学ぶデジタルコミュニケーション学部(4 年制大学)と、理論と実務を架橋し新たなビジネスを生み出すデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置するデジタルハリウッド大学(DHU、所在地：東京・御茶ノ水、学長：藤井直敬)は、2026 年 10 月 19 日(月)、愛知県教育委員会(教育長：瀬瀬知行)と教育連携に関する協定を締結しました。本協定は、両者が連携・協力し、教職員の資質向上及びデジタル技術を活用した教育の充実を図ることにより、デジタル社会を担う人材の育成を推進することを目的としています。今後、県立学校等の教職員を対象とした生成 AI 活用や探究学習をテーマとするオンラインセミナー(月 1 回程度)、STEAM をテーマとした特別授業・研修会(年 2 回程度)を実施するとともに、本学教員をアドバイザーとして配置し、県内学校 DX 化の取組を支援してまいります。

【協定締結の背景】

文部科学省は「高等学校 DX 加速化推進事業(DX ハイスクール)」(※1)を通じて、ICT を活用した文理横断的・探究的な学びを強化する高等学校等を支援しています。さらに、2026 年 10 月に公表された次期学習指導要領に向けた審議まとめ(※2)では、生成 AI の仕組みやリスクの理解を含む「情報活用能力」の育成が重視されています。学校現場では、教職員自身が生成 AI をはじめとするデジタル技術を授業や校務に生かし、生徒の学びにつなげる力が、これまで以上に求められています。

愛知県では、2025 年 12 月に策定した「あいちの教育ビジョン 2030—第五次愛知県教育振興基本計画



—」(※3)において、「情報活用能力の育成とICT活用教育の推進」を基本施策の一つに掲げています。同計画では、県立学校の教員を対象に生成 AI の効果的な活用法等に関する研修を行うことや、総合的な探究の時間等での ICT 活用を一層推進することが示されています。また、30 校以上の県立高等学校が DX ハイスクールとして、デジタルものづくりや AI を活用した人材育成など、特色ある取組を進めています(※4)。

本学を運営するデジタルハリウッド株式会社はこれまで、愛知県内の高等学校等との連携に取り組んできました。こうした中、生成 AI の活用や探究的な学びを推進する教職員の資質向上に向けて両方で協議を重ね、このたびの協定締結に至りました。

※1 文部科学省「高等学校 DX 加速化推進事業(DX ハイスクール)」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/shinko/mext_00024.html

※2 中央教育審議会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」(2026 年 10 月)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/1292164_00001.htm

※3 愛知県・愛知県教育委員会「あいちの教育ビジョン 2030—第五次愛知県教育振興基本計画—」(2025 年 12 月)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/aichi-manabi/20251225.html>

※4 愛知県教育委員会ウェブサイト「愛知県の DX ハイスクール」

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ictkyoiku/aichi-dxhighschool.html>

【協定の概要】

■協定名：デジタルハリウッド大学と愛知県教育委員会との教育連携に関する協定

■締結日：2026 年 10 月 19 日(月)

■目的：デジタルハリウッド大学と愛知県教育委員会が連携・協力し、教職員の資質向上及びデジタル技術を活用した教育の充実を図ることにより、デジタル社会を担う人材の育成を推進する。

■連携事項：

- ・学校教育における DX に関すること
- ・県立学校等の教職員の資質向上に関すること
- ・その他双方が必要と認める事項に関すること

【主な連携事業(予定)】

■デジタルハリウッド大学の取組

- ・高校教員・教育委員会向けオンラインセミナー(月 1 回程度の開催を予定)

＜テーマ例＞

- ・生成 AI 活用講座 | Gemini/Gemini Notebook/ChatGPT/Copilot の教育現場での徹底活用
- ・生成 AI リテラシー授業(生徒向けに、県および各校のガイドラインに沿う形での実施)
- ・探究×Python プログラミング講座～身近な課題をアプリで解決する探究活動を疑似体験～
- ・探究×データサイエンス講座
- ・探究×デザイン講座～地域の魅力・課題を伝えるコンテンツ制作実践～
- ・STEAM をテーマとした特別授業・研修会(年 2 回程度のオンライン開催を予定)
映像・アニメーション・CG、デザイン・アート×テクノロジー、先端技術・プログラミング体験、探究・地域課題解決、キャリア・進路啓発などをテーマに、特別授業や研修会を実施します。
- ・アドバイザーの配置
本学 星野裕之教授がアドバイザーとして、県立学校 DX 化の取組について助言を行います。

■愛知県教育委員会の取組

- ・県立学校への協定内容の周知
- ・本学が実施するセミナー・イベント等の県立学校への案内





・両者による定例会の実施(3か月に1回程度)

【アドバイザー紹介】

■ 星野 裕之(ほしの ひろゆき)



デジタルハリウッド大学 教授／デジタルハリウッド大学大学院 特任教授

otuA(オチュア)株式会社 代表取締役

2009年に otuA 株式会社を設立し、ロボットデザインを手がける。2015年、2025年グッドデザイン賞受賞メンバー。

【デジタルハリウッド大学 [DHU]】

<https://www.dhw.ac.jp>

2005年4月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

2026年4月、二代目学長に藤井直敬が就任。初代学長・杉山知之が示した「すべてをエンタテインメントにせよ」を拡張し、新たな教学ヴィジョンとして「世界を満たせ」を掲げる。

デジタルコミュニケーション学部では、不確実で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Webデザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報PR等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界49か国・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前で多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、創発的学究領域 [SEAD (Science/Engineering/Art/Design)] の4要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により「令和7年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中17位、私立大学7位となっており、多数の起業家を輩出している。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室: 川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

